

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	13 危機管理（研究科）《全学的な視点》	
中項目		
小項目	13.0.1 危機管理の体制を適切に整備しているか。	
要素		

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 大学が管理すべき危機を整理検討し、危機管理を全学的体制でおこなうための基本方針を策定する。	→危機管理基本方針の策定及び公表	B	B	B		
2. 基本方針にもとづいて、全構成員の日常的な危機管理意識を醸成するための研修制度を整備する。	→危機管理のための研修・災害にそなえた訓練への参加人数	C	C	C		
3. 感染症の被害を最小化するための機動的な組織体制を整備する。	→感染症対策のための一元的な組織の設置	B	B	B		
4. 自然災害、特に地震にそなえて建物の整備・点検を行う。	→耐震性または耐震改修された建物の割合(2009年度末までの耐震化率は52.6%、2010年度計画完了後は57.9%：ただし、1981年の新耐震基準以前の耐震改修必要とする上ヶ原キャンパス内の建物(解体予定の建物を除く)に対する、調査・概算の結果、耐震補強が不要な建物及び耐震改修済の建物の割合による。1982年以降の建物は含まない。)	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	広報会議において「緊急事態・不祥事の対応」について定めている
目標2	各、建物単位で広域の非難訓練を実施した。学生にはホームページで全学生に配付している大学案内「学生生活編」において避難場所を明示している。
☆ 目標3	麻疹、新型インフルエンザ流行時には保健館を中心に対策委員会を結成した。また学校において予防すべき感染症を法律に基づいて明示し、学生への療養、自宅待機等の指針を明示している。
目標4	耐震工事の必要な建物については、今後工事予定が4件、今後調査予定物件が5件、未使用物件と解体予定の物件が3件残っている。計画通り毎年予算化して工事を実施している。
備考	